



■ マックスセム エリート クロマ に関する臨床評価

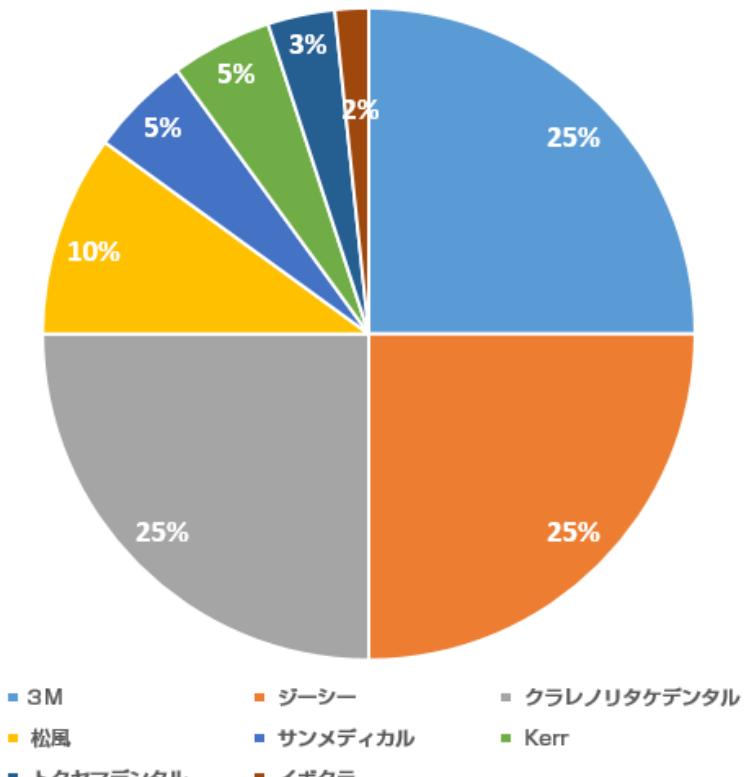


近年数多くのレジンセメントが発売されていますが、2016年に発売されたカボデンタルシステムズ社Kerrブランドのマックスセム エリート クロマは【硬化に伴いセメントの色調が変化し余剰セメント除去の適切なタイミングを視覚的に確認できるカラーインジケーター】を採用した非常にユニークな接着性レジンセメントです。OralStudioでは、29名のOralStudio臨床評価Dr.（以下、評価Dr.）のお力添えの元、当製品の臨床使用感を1ヶ月間 評価しましたのでご報告致します。

【事前調査】評価Dr.の接着性レジンセメント使用状況について

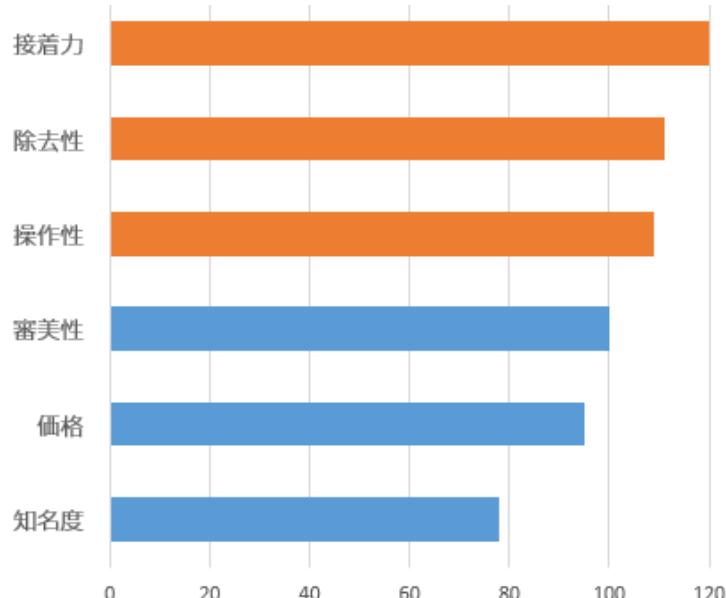
■ 現在導入されている接着性レジンセメントのメーカー名を全てお答えください。

当設問は複数回答です。平均 約2メーカーの接着性レジンセメントを導入されているようです。3M、ジーシー、クラレノリタケデンタルが拮抗している様子が見て取れます。

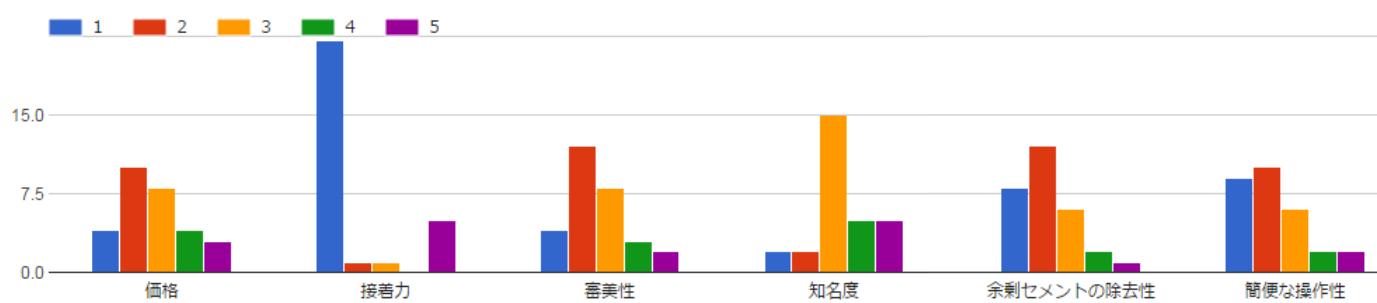


■ 接着性レジンセメントを導入する際に重要視する項目を教えてください。

「価格」「接着力」「審美性」「知名度」「余剰セメントの除去性」「簡便な操作性」の各項目ごとに点数をつけて頂き、その総合得点をグラフ化し（145点満点のグラフ）、重要視される項目順に示します。やはり、セメントゆえに「接着力」「除去性」「操作性」が重要視されるポイントであることが明らかとなりました。



■ 右上の設問の続き：各項目の重要度について、各項目ごとに評価してください。

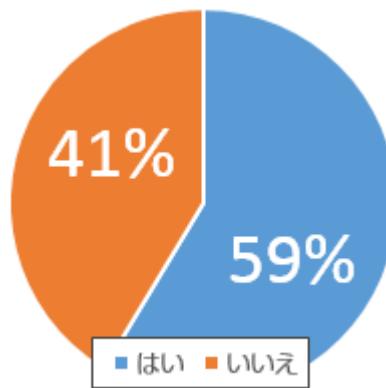


「1：最も重要視する～5：重要視しない」として各項目の重要度を各評価Dr.に選択して頂きました。

【今回の臨床評価について】

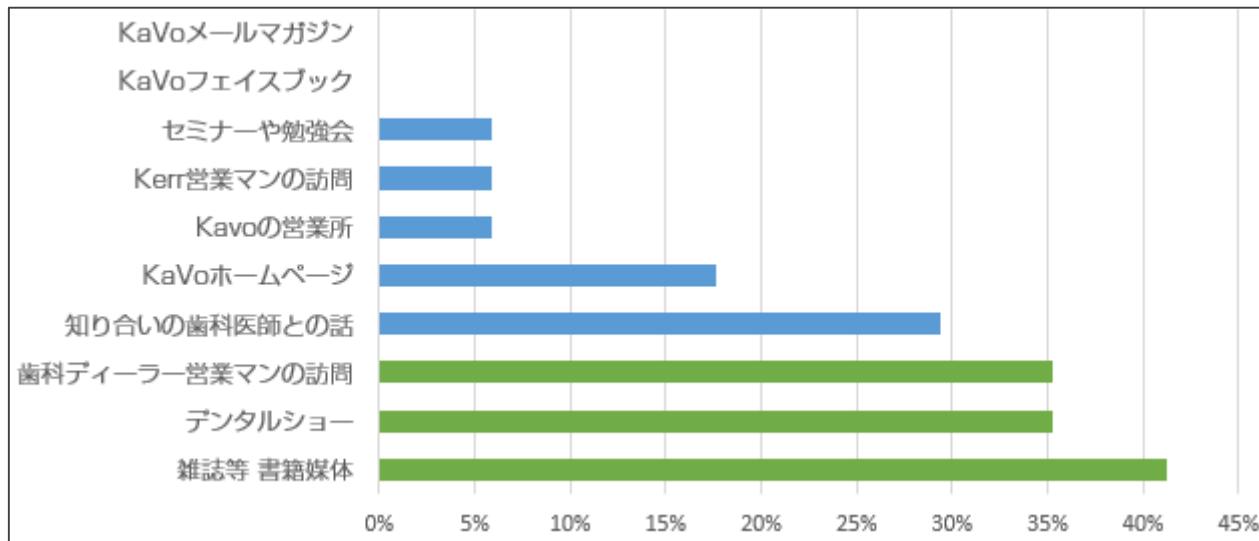
■ 当セメントをご存知でしたか？

マックスセム エリート クロマを今回の評価以前からご存知だったかをヒアリングしました。



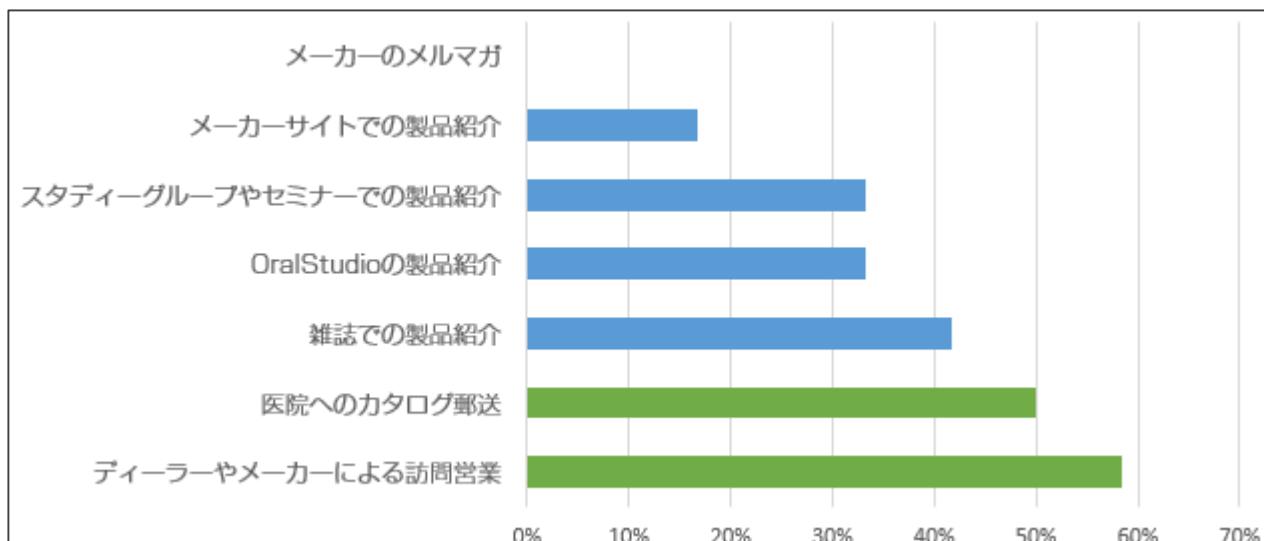
■ ご存知の方（17名）へ：どのようにして当製品を知りましたか？（複数回答）

ご存知だった評価Dr.へ、知ったキッカケを伺いました。雑誌等の書籍媒体、デンタルショーやディーラー営業マンによる直接の製品紹介が先生方が新製品を知る重要なきっかけとなることが明らかとなりました。



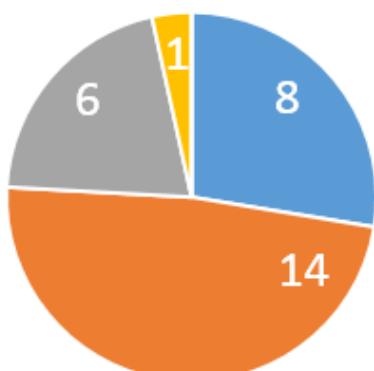
■ ご存知なかつた方（12名）へ：どのような情報提供を求められますか？（複数回答）

ご存知なかつた評価Dr.へ、どのような形での新製品の情報提供を望むかについて、ヒアリングを行いました。半数以上の評価Dr.がディーラーやメーカーによる訪問営業、医院へのカタログ郵送を求められました。この結果は、「できれば製品情報の提供は対面で行ってほしい、何らかの情報媒体で製品情報を届けてほしい」という点で、上記結果と符合します。



■ セメント色調の変化（ピンク色に変化）による余剰セメント除去タイミングは？

マックスセム エリート クロマは、カラーインジケーターを採用しており、セメント除去タイミングが視覚的にわかるという特徴がある。評価Dr.の約76%がわかりやすいと回答された。



- とても分かりやすい ■ 分かりやすい
- どちらともいえない ■ 分かりづらい
- とても分かりづらい

■ 【とても分かりやすい】と回答したDr.コメント

- ・色の変化での判断は誰が見ても一目瞭然。
- ・硬化状態が視覚的にわかるので、探針で頻繁に確認しなくていい。
- ・色がシャープに変化してくれるのでわかりやすかった。

■ 【分かりやすい】と回答したDr.コメント

- ・コンタクト下は若干色がわかりにくい感じ、そこが最も問題点なのですが。
- ・不便はないが、もっとハッキリとしたピンク色から変化すると、より明確に分かりやすいと思う。
- ・基本的には光硬化でタイミングをはかることが多いので色調の変化に慣れていないこともあります。

■ 【どちらともいえない】と回答したDr.コメント

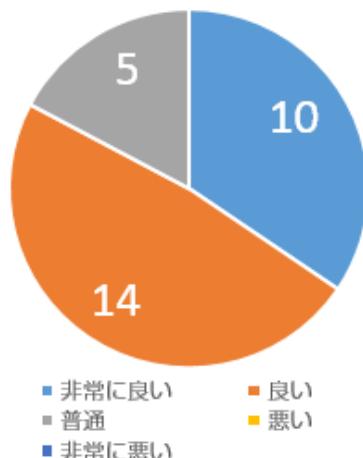
- ・変化のタイミングが早く、装着に慌てることがある
- ・時間で判定する習慣があるので、視覚での優位性はありません。

■ 【わかりづらい】と回答したDr.コメント

- ・ピンクは口腔内にある色なので同化しやすい、そして近距離より照射をするので見えないということもあります。

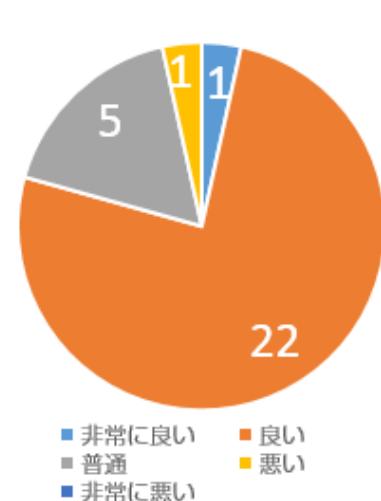
■ 余剰セメントの除去性は？

余剰セメントの除去性において特徴的だったのが、「一塊除去の容易さ」である。



■ 総合評価は？

当セメントの総合評価としては、約8割の評価Dr.が「良い」以上の評価を示した。非常に良い=5点、良い=4点、普通=3点、悪い=2点、非常に悪い=1点として総合評価を点数化すると、3.8であった。



■ 【大変良い】と回答したDr.コメント

- ・セメントの色調変化はわかりやすい。余剰セメントは非常に除去しやすく操作性良好。

■ 【良い】と回答したDr.コメント

- ・光照射で除去する場合、いざ除去しようとすると硬化程度が予想と異なり戸惑うことがしばしばあるが、このセメントは色で重合程度がわかるようにしたのは先駆的。
- ・硬化反応を色変化で見極めることは、触らなくてよいので大変安心。
- ・操作性、わかりやすさは高評価。除去のしやすさもいい感じ。あとは価格。
- ・他社の接着性レジンセメントとの間にミキシングチップの汎用性が無く残念。消耗品にもコストがかかるので、その点の改善もしくは対策があればぜひ採用したい。
- ・色の変化以外にも、もう少し特徴があるといいですね。

■ 【普通】と回答したDr.コメント

- ・長期的予後に関する臨床研究が今の所ないようなので、はっきりと評価することは難しい。現時点では、中長期的なデータで一定の成果が見られるものを採用したい。

■ 【悪い】と回答したDr.コメント

- ・硬化の硬度がアルティメット（3M）に似ていて非常に硬い感じを受けた。

OralStudio 臨床評価Dr.より、Kerr & KaVo 製品に一言

期待しています。

他社よりも価格、性能共に満足するものと思います。

GCやクラレは友の会を通じ新しい製品が次から次へと送られてきますが、比較すると情報が少ないかと思います。DMで送付して、宣伝してもよいかと思われます。

OralStudioのおかげか深刻に困るほどの遅延は感じていません。ホームページトップの項目別の窓に、最新のものがいればNEWと付けておくだけでも見に行く気になると思います。

確かに定評はあるものの、売り込みが乏しい気がします。商店さん方も積極的に宣伝していただければ、周知されやすいでしょう。

Kerrといえばダイレクトボンディングの印象です。とても素晴らしい商品がいっぱいです。ただ、実際に某有名Drのセミナーにて色々知ったわけで・・・。でもこれでいいと思います。kerrやkavoの商品はきちんと使い方を知らないと良さが出ないと思います。KaVoは高級で車メーカーに例えるとメルセデス。なので、今のスタンスでも良いのではと思います。

日本のメーカーに比べて宣伝が控えめで地味だと思う
接着力のデーター等積極的に的に提供希望。

出入りのKerrやKaVoの製品のディーラーがときどきカタログを持ってきます。ただ置いていくだけですが、必ず目を通しますのである程度有効な手段かと思います。

KaVoのサイトやメールマガジンのみでなく、OralStudio様のような第三者の媒体を介してでも、どんどん情報発信をしてほしい。

確かに他のメーカーに比べて情報は少ないです。もっと積極的に情報提供をしたほうがいいと思います。
中立的な研究機関のデーターを提供してもらえるといいです。

コマーシャリズム的ではありますが、どの先生が使用しているという広告をみるとちょっと使用してみようかと考えることもあります。ただ使用するにあたり最も重要視しているのが、スタディグループやさまざまな講演やセミナーで信頼できる演者が使用していることが決定要素となることが多いです。実際に長期的に使用してみないと分からぬ点も多くありますから…

私は現在クラレのV5を使用することが多いのですが、私の周囲ではV5が非常に評判が良く、実際に私自身も使用してトラブルを経験したことがないので使い続けています。もちろんさらに良い製品があれば他にも検討することになりますが…

特にKerrの商品について、あまり情報が入って来ないと感じています。ユーザーの比較した意見を知りたい。

確かに情報が少ないとと思う。非常にいい製品があるのにもったいない気がします。信頼できるメーカーの一つだと思っている。

最後に OralStudioからのコメント

この度は、カボデンタルシステムズジャパン株式会社様のご好意により、世界で始めて接着性レジンセメントにカラーアインジケーターを採用した「マックスセム エリートクロマ」の臨床使用感に関するOralStudio臨床評価を実施。

接着性レジンセメントは各社から続々と発売されておりますが、日本の臨床家の先生方による評価は少なく、また製品のライフサイクルが短いため長期臨床予後に関するデータも不足していると感じております。

OralStudio臨床評価も、たった1ヶ月間の評価ですので実際の中長期臨床評価とは異なり、あくまで先生方の使用感によ

る製品性能の評価となってしまいますが、長年の臨床経験をつまれた先生方のコメントは一読の価値がありますので、是非多くの先生方、歯科医療関係者にご覧頂ければ幸いです。

また、製品自体の良し悪しもさることながら、せっかく誕生した素晴らしい製品を1人でも多くの先生方に知って頂くことは医療を支えているメーカー、ディーラーの責務であるとOralStudioでは考えております。

今回29名のOralStudio臨床評価Dr.の皆様のお力をお借りし、また一つ新しい製品評価レポートが完成いたしました。多くの先生方のお役に立つことができれば幸いです。

文責：OralStudio